学習内容報告書

学校名	姫路市立豊富小中学校
授業者	第５学年（遠藤修平・前野翔大・田村範子・牛尾聡美）

1.　単元計画

1-1. 単元名

世界とつながる播磨の海と私たち

1-2. 学年

第５学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

国語科，社会科，理科，家庭科，道徳，　総合的な学習

1-4. 単元の概要

・海洋ごみの問題点や解決策，および私たちの生活との関係を探究する学習 ・地球温暖化と海洋，および私たちの生活との関係を探究する学習 ・SDGｓ14「海の豊かさを守ろう」の理解を深めるための学習

1-5. 単元設定の理由・ねらい

地域の川と海は私たちの生活に密接なつながりがあることについて学習し，海の豊かさについて学ぶとともに，自分たちの暮らし方について考えを深める機会とする。

1-6. 育みたい資質や能力，態度

・選んだテーマや疑問について調査し，プレゼンテーションする力。 ・持続可能な社会を実現するための行動について皆に提案することができる力。 ・学んだことを実生活に活かしていこうとする力。

1-7. 単元の展開（全 18 時間）

<table>
<tr><th>時数</th><th>学習活動・主な内容</th><th>教師の指導/主な評価
外部連携/使用教材等</th></tr>
<tr><td>1</td><td>アンケート実施</td><td>海洋問題についての知識や経験をたずねた。</td></tr>
<tr><td>2</td><td rowspan="2">アンケートの結果発表
・集計結果を見ながら気づいたことを話し合った
・エピソードの出し合い</td><td rowspan="2">集計結果を紹介したり，主な意見を紹介したりした。</td></tr>
<tr><td>3</td></tr>
<tr><td>4</td><td>オンライン川下り</td><td>グーグルアースを活用し，地域を流れる市川から播磨灘までをオンライン上で川下りをする。
㊐私たちの生活と海とのつながりに気づく。</td></tr>
<tr><td>5</td><td>「地元の魚をさばいて食べよう」事業</td><td>姫路市水産漁港課・兵庫県漁業協同組合
㊐これまでの学習を思い出しながら，「命をいただく」ということ，守り伝えるべきこと，について思いを新たにし，自分にできることを実行しようという意欲を高める。</td></tr>
<tr><td>6</td><td rowspan="5">いえしま自然体験センターにおける海洋体験フィールドワーク</td><td rowspan="5">・姫路港から播磨灘の離島へ
・カヤックにチャレンジ
・ビーチコーミング
・島内ウォーキング</td></tr>
<tr><td>7</td></tr>
<tr><td>8</td></tr>
<tr><td>10</td></tr>
<tr><td>11</td></tr>
<tr><td>12</td><td rowspan="3">選んだテーマについてグループに分かれ，調べ学習を実施
（書籍，新聞，インターネット）</td><td rowspan="3">これまでに調べたことや体験活動を通して学んだことも含めてまとめるよう助言した。</td></tr>
<tr><td>13</td></tr>
<tr><td>14</td></tr>
<tr><td>15</td><td rowspan="2">プレゼンテーション（ワークショップ形式で報告会）</td><td rowspan="2">それぞれのグループについて，質問・感想の交流を支援した。</td></tr>
<tr><td>16</td></tr>
<tr><td>17</td><td rowspan="2">オリジナルフォトフレームの作成</td><td rowspan="2">貝殻やマイクロプラスティック等，海洋体験で集めたものやこれまでに調べたことをもとにオリジナルフォトフレームを作成した。</td></tr>
<tr><td>18</td></tr>
</table>

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 18 時間中の 12・13・14 時間目

2-2. 本時の目標

グループごとに選んだテーマについて，調べたことをプレゼンテーションに向けてまとめる

2-3. 本時の展開

主な学習活動/反応	教師の指導・支援/評価の視点
1．本時の課題を確認する。	・学習計画と発表対象を確認することで，ゴールイメージをもって取り組めるようにする。
2．各グループで発表スライドを作成する。 	・ICT 機器を活用して，共同で編集できるようにする。 （スライド，ドキュメントシート，Jamboard 等） ・事前に学習したプレゼンテーションのコツを再確認させ，相手意識をもてるようにする。
3．進捗状況を確認する。	・グループ毎に，他の児童のスライドを確認させ，アドバイスし合えるようにする。 ・オンラインのコメント機能を活用することで，リアルタイムで多様な意見を共有できるようにする。
4．振り返りを行う。 ・ゴミが多い状況を写真を入れながらまとめらたので見やすくできたと思う。少し文字が多いと言われたので，文章を減らしてより分かりやすくしていきたい。	・伝えたい内容や作成資料が目的に合っているかという視点で，自分の活動をふり返ることができている。 （発言・ワークシート）

3. 今回の活動の自己評価

・年間を通して実施したため，児童の思考が深まっていくのを感じた。
・外部講師との連携ができ，講話内容と授業内容・児童の実態を合わせることができた。
・社会の漁業の学習や国語科の学習，家庭科の調理実習，図画工作科との関連を図ったりするなど，年間を通じて教科横断的に実施することができた。
・学校司書と連携し，調べ学習支援をすることができた。

4. 今後の課題

・学習のまとめとして１人１台コンピュータを活用してプレゼンテーションを作成した。今後も，探究したことをまとめて伝えるための基礎スキルを高めていきたい。
・感染症対策として，当初予定していた海洋体験を大幅に削除して実施したプログラムとなった。宿泊プログラムがない中での海洋教育について，今後もよりよい在り方を模索したい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

今回の活動をまとめたリーフレット「豊かな海を未来へ」を作成しました。本報告書と併せて活用頂ければと思います。